

# ネコソギ Wクイック

微粒剤

グリホサートイソプロピルアミン塩・フルミオキサジン粉粒剤

農林水産省登録 第21993号



## 樹木の下草管理や電気柵まわりの雑草対策に!!

### 特長

そのままサラサラ散布するだけ

希釈不要

微粒剤タイプ

約3ヶ月<sup>\*</sup>  
効果が持続

伸びた雑草に使える  
(草丈50cm以下)

\*散布時期や使用量等によって差が生じます

### 以下の9樹種で実施し、薬害が認められない

コナラ

シラカシ

ウメ

メタセコイヤ

ヒバ

ネズミモチ

クロマツ

ヤマザクラ

ベイマツ

### 使用場面(樹木下)での薬害試験 ティーグラウンドまわりの景観維持に!

2018年7月5日



2018年9月21日



ネコソギWクイック 20g/m<sup>2</sup>散布

2018年7月19日



2018年9月21日



ネコソギWクイック 20g/m<sup>2</sup>散布



Rainbo Pharmaceuticals Co., Ltd.

# 2つの有効成分が安定した効果を発揮!

# ネコソキ<sup>®</sup> Wファイブ<sup>™</sup> 微粒剤

農林水産省登録 第21993号  
成分:グリホサートイソプロピルアミン塩 3.0%  
フルミオキサジン 0.10%  
鉱物質微粒等 96.9%  
性状:類白色微粒  
包装:5kg×4袋

## 適用雑草と使用方法

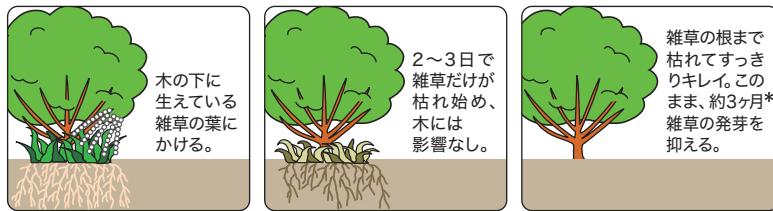
(2019年7月現在の登録内容)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※	
						本剤および フルミオキサジン を含む農薬	グリホサート を含む農薬
樹木類	——	一年生雑草		10~20g/m <sup>2</sup>	雑草茎葉散布	4回以内	
樹木等	公園・庭園・堤とう 駐車場・道路・運動場 宅地・鉄道等	多年生広葉雑草	雑草生育期	20~30g/m <sup>2</sup>	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3回以内	3回以内

※は、本剤およびそれらの有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

- 枯れやすい一年生雑草には1m<sup>2</sup>当り10~20g(1坪当り33~66g)、  
しつこい多年生広葉雑草には1m<sup>2</sup>当り20~30g(1坪当り66~99g)を本剤が雑草の葉や茎に付着するように散布します。
- 朝露がおりたときや降雨の後など、雑草が湿っている状態で散布してください。

## 樹木類の下草への散布方法 △食用果樹には使えません



※樹木類の葉に本剤がかかると枯れるおそれがあるので散布には十分注意してください  
\*散布時期や使用量等によって差が生じます

## 散布上の注意

枯らしたくない植物の葉に本剤がかからないようにする。  
傾斜地では使用しない。

- 土壤、気象条件、雑草の種類などで効果に差が出ることがある。
- 枯らしたくない植物には本剤がかからないよう、十分注意する。
- 散布時は使用者に薬剤がかからないように、風上に立って散布する。
- 本剤散布後、土壌に植物を植え付ける際は、土を耕してから植え付けを行う。
- 散布後、2週間以上待っても効果が現れない場合、成分が植物に吸収されていない可能性がある。その際は、雨上がりなど雑草の葉が湿っている状態で再度散布を行う。

## △ 効果・薬害等の注意

- 雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、雑草の草丈が50cm以下の生育期に散布する。
- 雑草の茎葉が湿った状態で使用する(効果)
- 作物の茎葉に付着すると薬害を生じるので、かからないよう十分注意して散布する。
- 播種予定地では使用しない(薬害)
- 強風時の散布は薬剤が飛散して、周囲の植物に薬害を生じるおそれがあるので、さける。
- 散布後の多量の降雨は効果にむらを生じたり、有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、天候を見極めてから散布する。
- 本剤が水田に入ると、稻が枯れるので十分注意する。



- ハウス等の施設内及びその周辺では使用しない。
- 急な傾斜地で使用しない。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意する。
- 自動車、カラートタン、壁、ペット、洗濯物、玩具などにかかるないように注意する。
- 使用量に合わせて秤量し、使い切る。散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さない。空袋は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。本剤を樹木類に属する作物又はその新品种に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## △ 安全使用上の注意

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園、堤とうなどで使用する場合、散布区域に縄張いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管。

魚毒性等…河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する(藻類)  
保管……密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

■ 使用前にはラベルをよく読む ■ ラベルの記載以外には使用しない ■ 小児の手の届く所には置かない ■ 空袋は圃場などに放置せず適切に処理する

